

本日、関東大学テニスリーグ全日程が終了致しました。

男女共二部では優勝致しましたが、一部二部校入替戦において、男子は亜細亜大学と対戦し4-5で敗れ、また女子は山梨学院大学と対戦し2-5で敗れ、男女共二部残留という悔しい結果となりました。

今年こそは一部昇格を目標に日々努力して参りましたが、力及ばず、応援して頂きました皆様のご期待に沿えることが出来ず残念でなりません。

またチームを引っ張って来た4年生の引退に華を添えられず、嬉し涙ではなく悔しい思いのまま引退をさせてしまい、申し訳なく思っております。

勝つためには、何が足りなかったのか。何をすべきなのか。考えなければならないことは多くあります。新しいシステム、指導方法の導入など試行錯誤しながらの一年となりましたが、練習方法、練習への取り組み方、普段の自己管理能力の向上、寮生活の過ごし方、サポートや指導の仕方など、見直すべきところを見直し、来年こそは「悲願の一部昇格」を選手・スタッフの絶対の使命と定め、新たに向けスタート致します。

最後になりますが、OBOGの皆様、保護者の皆様、テニス部を応援して頂きました皆様、多大なるご声援・ご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございました。またスタッフの皆様、毎日朝早くから遅くまでサポートありがとうございました。

引き続き、宜しく願い申し上げます。

日本大学保健体育審議会テニス部  
第四代監督 山田真幹